

学校名 薩摩川内市立副田小学校 校長名 橋口 俊崇

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評価(数値平均)		対策・改善点		評価(数値平均)		主な意見	
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	3.5	感染症対策のため、PTA総会や運動会などの行事が影響を受けたが、対応策を講じながらできる限り実施した。	段階	人数	3.6	学校だより等でよく紹介されすばらしい。よく伝わってきた。HPの更新がよくなされている。
			A	6			A	9		
			B	7			B	5		
			C				C			
D		D								
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	3.5	学年によって実態に差があるが、担任以外の職員も授業支援に入るなど全校体制で対応した。	段階	人数	3.4	授業を工夫され熱心だと思う。計画的に努力されていて望ましい。学習のしつけがよくなされている。知・徳・体を通して望ましい子供たちへの取組がよく分かる。
			A	7			A	6		
			B	5			B	8		
			C	1			C			
D		D								
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	3.5	各職員が児童と向き合う時間を確保するように努めている。欠席ゼロの日が60日を超え昨年の実績を上回った。	段階	人数	3.6	児童一人一人が生き生きと、明るく学校生活を送っている。欠席者がいない日が増えてきていることはすばらしい。
			A	7			A	9		
			B	5			B	5		
			C	1			C			
D		D								
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	3.8	児童理解のための情報交換を毎週実施し、全職員の共通力の下に課題解決に取り組んでいる。	段階	人数	3.6	保護者の協力のもと取り組んでいる。情報交換等計画的に実践されすばらしい。一人一人を大切にしたい取組がなされている。
			A	11			A	9		
			B	2			B	5		
			C				C			
D		D								
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	3.8	台風や大雪などの際は、安心・安全メールを活用したり文書を配布したりして保護者に注意を促した。	段階	人数	3.6	親も安全に取り組んでいると思う。連携がよくなされている。子供たちの安心・安全に細心の注意を払っている。安心メールがよく活用されている。
			A	10			A	9		
			B	3			B	5		
			C				C			
D		D								
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	3.2	課題が生じた場合は管理職も関わりながら丁寧に対応し解決を図るようにしている。	段階	人数	3.2	先生方が笑顔で一人一人の子供に向き合い指導・助言をしている。地域行事が少なく、どこまで信頼関係が構築できているか分からない。
			A	4			A	3		
			B	8			B	11		
			C	1			C			
D		D								
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	3.5		段階	人数	3.7	大変充実した環境整備がなされすばらしい。いつも整理整頓されていて気持ちいい。校内全体、環境美化に力を注いでいる。季節をしっかりと感じられる環境である。
			A	6			A	10		
			B	7			B	4		
			C				C			
D		D								
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	3.8	点検を日常的に行い、気付いた箇所は教育委員会に相談しながら補修改善を進めた。	段階	人数	3.7	安全点検がよくなされている。学校の施設・設備が安全維持管理に注意を払われている。
			A	11			A	10		
			B	2			B	4		
			C				C			
D		D								
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	3.5		段階	人数	3.2	学校だより等でよく知らされている。個人の特定とならないよう工夫した公表が必要だと思う。
			A	6			A	3		
			B	7			B	10		
			C				C			
D		D								
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	3.7	感染症の影響で地域の方や保護者に来校していただく機会が少なかったが、可能な範囲で協力をいただいている。	段階	人数	3.5	地域と一体となった活動ができていると思う。
			A	9			A	7		
			B	4			B	6		
			C				C			
D		D								

様式6 令和2年度 学校関係者評価結果

No. 2

学 校 名
副田小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評価(数値平均)				評価(数値平均)	主な意見		
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	大変充実していると思う。コロナ禍で交流が少なかったが、生き生きと活動できた。
			A	4	3.2		A	1	3.0	
			B	8			B	10		
			C	1			C	1		
D		D								
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	段階	人数	平均	感染症の影響で実施が危ぶまれたが、宮之城吹奏楽団の演奏会とフラワーアレンジメントを実施できた。	段階	人数	平均	すばらしい計画で実践されている。子どもたちが喜ぶ工夫がなされている。
			A	9	3.6		A	8	3.7	
			B	3			B	4		
			C	1			C			
D		D								
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階	人数	平均	ALT、ESTと連携しながら推進することができた。	段階	人数	平均	英語教育の推進にあたり、教材に創意工夫が図られている。子供たちが生き生きと活動していた。充実されている。
			A	6	3.2		A	9	3.7	
			B	4			B	4		
			C	3			C			
D		D								
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	朝のあいさつ運動や全校朝会等で児童に働きかけることにより、改善してきている。	段階	人数	平均	元気な挨拶の子供が多くなった。個人差はあるが、よく挨拶してくれる。自分から進んで挨拶できる子と、話しかけてできる子の差がある。
			A	1	2.8		A	3	3	
			B	9			B	9		
			C	3			C			
D		D								
15	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均	
			A		#DIV/0!		A		#DIV/0!	
			B				B			
			C				C			
D		D								

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

- 学力向上**
- 小学5年生を「ミドルゴール」とした学力向上策の実施及び前期(1年生～4年生)における基本的な学習習慣の確立と基礎的な学力の確実な定着を図る。
    - ・学習するときの姿勢や鉛筆の持ち方等の指導の徹底(特に1・2年生)
    - ・家庭学習の習慣化(学年×10+30分以上の学習時間の達成率80%以上)→低・中学年の家庭にも積極的に啓発を行う。
    - ・学年に応じた効果的な演習問題等の活用や演習問題等に取り組む時間の確保(日課表の工夫、土曜授業の活用等)
    - ・児童支援加配教員の効果的な活用や個別指導、100点チャレンジ等の実践
- 子どもや保護者、地域との望ましい関係の構築**
- 児童理解に立脚した指導と、説明責任を丁寧に果たしながら保護者との信頼関係の構築に努める。
    - ・児童理解のための事例研修、情報交換を毎週実施
    - ・課題が発生した場合は直ちに保護者に連絡し、連携しながら迅速な解決を図る。
  - 感染症拡大防止と学校行事・地域交流等の両立を図る。
    - ・状況判断を細かく行いながら、学校行事への地域の方々の参加や地域交流を可能な限り実施する。
- 施設・設備の維持管理**
- 木造校舎の外装の腐食、鉄筋校舎の雨漏りや外壁の汚れなどは単年度では対応が難しいので、優先順位をつけ、教育委員会と連絡を取りながら複数年度で計画的に改善を図っていく。